

リスニングドリル 授業案例

ミントアプリケーションズ株式会社

2016年8月

英語音声、特に自然な英会話の音声に慣れさせる訓練に向いている。

授業目的と割り当てられる時間によって、どのドリルを使うかを柔軟に決めることができる。

このときのポイントはモジュールの考え方 **module method** である。これはドリルの様々なスタイルをパーツとして分割しておき、授業目的と割くことのできる時間に応じて組み合わせることで、1回分の授業とすることである。

そこでここではまずいくつかのモジュールを説明し、次にそれらの組み合わせ例を紹介する。

* ドリルを利用するにはライセンスによるログインが要求される。

目次

1	モジュールの例	… 2
2	教室環境別授業案例	… 3
	一般教室の場合	… 4
	PC 教室の場合	… 5

モジュールの例

以下で使う「スキット」とは、連続した 5～7 字幕（15～20 秒）程度のまとまったシーンのこと。

所要時間はおおよその目安。

一斉学習は、教師用 PC とプロジェクタを想定し、個別学習では PC 教室を想定。

	テーマ	所要時間	説明	推奨授業スタイル
A	鑑賞	10 分	チャプターを通して鑑賞。	一斉学習
B	パラレルリーディング	3 分	スキットを利用。 提示には鑑賞モード、あるいはシャドーイングモードを使う。	一斉学習
C	シャドーイング	5 分	スキットを利用。	個別学習
D	キャストイング	10 分	スキットを利用。 なりきり英会話をペアで行う。	ペアレッスン あるいは、クラスを 2 つにわけたグループレッスン。
E	リスニングドリル	10 分	入門から始めて、時間内に行けるところまで問題を解きすすめる。	個別学習

教室環境別授業案例

先に述べた A から E までのモジュールを組み合わせて授業を運営する。

どの組み合わせを使うにしても A 鑑賞は必ず実施し、物語の筋を理解してから活動や演習に入るのが妥当。

教室環境は一般教室と PC 教室に分けた。ここでの一般教室は教師用 PC とプロジェクタを備え、生徒 PC はない状態を想定。

一般教室では一斉学習とクラスを 2 つにわけたグループ学習のみとなり、PC 教室では一斉学習、グループ学習、個別学習、ペアレッスンが可能とした。

ただし、プリントなどを工夫すれば一般教室でも個別学習やペアレッスンも実現できる。

スキットの選択は慎重に行いたい。できるだけ平易な表現と親しんでいる単語ばかりのところを選ぶとよいが、そうでないと時間がきつくなるだろう。

シャドーイングやキャスティングなどの発声系を行った場合には、個人あるいはペアによる発表で締めくくるとと、クラスの盛り上がりや達成感につながりやすい。

発表会では常に肯定的な評価を返すように心がけ、一般には 1 回毎に拍手を送るだけでよい。

また、締めくくりに、全員が、あるいは指名して発表会をおこなうことを事前に伝えておくことが必須条件。これにより、やる気が出やすくなり、一斉唱和や個別学習の時のぼそぼそ感が軽減されることが多い。

映画は全 10 チャプタ、1 チャプタあたり平均 10 分の「ローマの休日」を想定。

一般教室の場合

1 **鑑賞** > **パラレルリーディング** > **キャストイング** > 発表

所要時間： 25 分.

カリキュラム： 週 1 回として 3 ヶ月（10 週）で全 10 チャプタ終了.

進行： チャプターを鑑賞した後、スキットで 1 フレーズずつ 2~3 回再生しながらパラレルリーディングを行う。その後クラスを 2 つに分けて配役を割り振り、キャスト・スピーキング（なりきり英会話）を行う。グループから 1 人ずつ指名して即席ペアでのなりきり英会話で締めくくると刺激になり、達成感が得られやすい。

解題： 1 コマの中で 20 分以上の時間を確保できる時の授業案.



2 **鑑賞** > **パラレルリーディング** / **パラレルリーディング** > **キャストイング** > 発表

所要時間： 10~15 分.

カリキュラム： 1 チャプタを週 2 回で仕上げ、3 ヶ月（10 週）で全 10 チャプタ終了.

進行： 上の進行を前後に分けて行い、2 度めはパラレルリーディングをしっかり行うことが重要.

解題： 1 コマの中で 20 分以上の時間が確保できない時の授業案.

1 **鑑賞** > **パラレルリーディング** > **キャストイング** > 発表

所要時間： 25 分.

カリキュラム： 週 1 回として 3 ヶ月（10 週）で全 10 チャプタ終了.

メモ：一般教室との違いは、キャスト・スピーキングを個別学習とし、クラス 2 分割グループレッスンをペアレッスンに変えた点.

進行：チャプターを鑑賞した後、スキットで 1 フレーズずつ 2~3 回再生しながらパラレルリーディングを行う。その後個別学習でキャスト・スピーキング（なりきり英会話）を行い、隣席と配役を決めてペアレッスンまで進む。最後にペアを指名して発表で締めくくるには、最初の頃は時間がもう少し必要かもしれないが、慣れてくれば大丈夫.

解題： 1 コマの中で 20 分以上の時間を確保できる時の授業案.

2 **鑑賞** > **パラレルリーディング** / **パラレルリーディング** > **キャストイング** > 発表

所要時間： 10~15 分.

カリキュラム： 1 チャプタを週 2 回で仕上げ、3 ヶ月（10 週）で全 10 チャプタ終了.

進行：上の進行を前後に分けて行い、2 度めはパラレルリーディングをしっかり行うことが重要.

解題： 1 コマの中で 20 分以上の時間が確保できない時の授業案.

3 **鑑賞** > **シャドーイング** > 発表

所要時間： 25 分.

カリキュラム： 週 1 回として 3 ヶ月（10 週）で全 10 チャプタ終了.

進行：チャプターを鑑賞した後、個別学習でシャドーイングを行い、最後はコンピュータ音声とのペアレッスンの発表で締めくくる。これは教師用 PC から音映像を出力し、その時配役の一方の音声を OFF にして、そこを生徒が発声する方法.

解題：クラスが発声に慣れてきた時の授業案で、パラレルリーディングを飛ばして発表に向けての個別学習に時間を割く授業案.

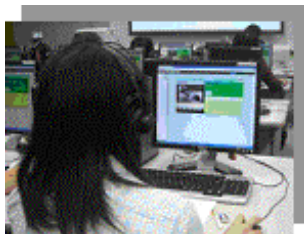
4 **鑑賞** > **リスニングドリル**

所要時間： 25 分.

カリキュラム： 週 1 回として 3 ヶ月（10 週）で全 10 チャプタ終了.

進行： チャプターを鑑賞した後、個別学習でドリルを行う.

解題： 発声よりも、リスニングに慣れることに重点をおいたプラン.



5 **鑑賞** > **リスニングドリル** / **リスニングドリル**

所要時間： 25 分.

カリキュラム： 1 チャプタを週 2 回で仕上げ、3 ヶ月（10 週）で全 10 チャプタ終了.

進行： 同一チャプタの 1 回めは全員「A2 入門」を実施するように指示し、2 回めのドリルだけの時は「B1 導入 / 聞き取り 語順整序」から行うように指示する.

解題： 発声よりも、リスニングに重点をおき、慣れることから、力をつけることに集中するプラン.

6 **リスニングドリル**

所要時間： 10 分.

カリキュラム： 毎回の授業終了時にドリルのみを行う.

進行： 教師はドリルするチャプタだけを指示し、ドリルのレベルは生徒が選ぶ.

解題： 空き時間を上手に使ったり、授業の流れや気持ちを切り替えたい時に行う.

毎回これで授業を締めくくるという習慣は学習のリズムを作りやすい.